

佐賀市まちづくり自治基本条例に関する意見一覧

| 大分類 | 中分類 | No. | 内容 | 委員名 | 意見区分 |
|---------------------|-----------------|--|---|--------|--------|
| I まちづくりへの参加の動機づけの強化 | (1) 地域 | 1 | 地域の取組として、各世代が集う企画を実施してはどうか。まちづくりを進めるにあたり、人々のつながりとして「祭り」などの行事が有効ではないか。 | E委員 | 意見・質問 |
| | | 2 | 子ども食堂などの地域の取組の中で、アートやイベント系の団体とコラボして、ミニ音楽会などを実施してはどうか。 | F委員 | 効果的な取組 |
| | (2) 防災・減災 | 3 | 防災、減災のまちづくりを進めるためには平時からの取組が大切であるため、地域の中で災害が発生したことを想定した取組を実施してはどうか。 | F委員 | 効果的な取組 |
| | | 4 | まちの名前には歴史的背景や昔の人たちからのメッセージがあるので、地域への愛着や防災意識を高めるために、分かりやすく残していくことも大切ではないか。 | F委員 | 効果的な取組 |
| | (3) 若い世代の活動 | 5 | 若い世代が中心となって活動している団体の取組を多くの人に知ってもらうため、活動の紹介や表彰を行ってはどうか。 | D委員 | 意見・質問 |
| | | | 市民の主体性を引き出すため、まちづくりを行っている若い世代の紹介や、まちづくりに貢献している団体を表彰してはどうか。 | D委員 | 効果的な取組 |
| (4) 事業者 | 6 | まちづくりに参画した事業者にメリットがある施策を行ってはどうか。 | C委員 | 効果的な取組 | |
| II 条例の周知普及 | (1) 周知の仕方 | 7 | 「市民等が主体のまちづくり」について、まちづくりの主体が行政ではなく、なぜ市民なのか。 | A委員 | 意見・質問 |
| | | 8 | 「市民等」とあるが、「等」を入れる必要があったのか。 | C委員 | 意見・質問 |
| | | | 「自分たちのまちは自分たちで治める」は分かるようで分かりにくいいため、子どもにも伝わるような具体的な合い言葉を考えてはどうか。 | E委員 | 意見・質問 |
| | | | 漫画版パンフレットを読みやすくするため、4コマ漫画のようにしてはどうか。 | E委員 | 意見・質問 |
| | (2) 学生 | 9 | 高校生や大学生に対するまちづくりへの参加の働きかけをしてはどうか。 | B委員 | 効果的な取組 |
| (3) 一般 | 10 | まちづくりの主体は成人であるため、成人への周知も大切ではないか。 | C委員 | 意見・質問 | |
| III 条例全般 | (1) 情報共有 | 11 | 今まで実践してきた取組から「考察」をして再検討し、そこから良い点を伸ばしてはどうか。 | E委員 | 効果的な取組 |
| | | | 行政と市民等の情報共有について、誰に対して、どのような形で行い、それがどのように反映されているのか。 | E委員 | 効果的な取組 |
| | | | パブリックコメントの意見数が少ないように感じるため、周知の方法を再検討してはどうか。 | E委員 | 意見・質問 |
| | (2) 市政一般 | 12 | 若い世代が住みたい佐賀市を作り上げるため、保育料、小・中学校の給食費、18才までの医療費の無償化など思い切った施策を行ってはどうか。 | A委員 | 効果的な取組 |
| | | 13 | 市職員が職員研修で学んだ事を活かして、それぞれの地域の活動に参加し、まちづくりを推進する役割を担ってはどうか。 | C委員 | 意見・質問 |
| | (3) 子どもへのまなざし運動 | 14 | 「子どもへのまなざし運動」で大人の役割があるが、本当に大人が子どもの人権を考えているのか。 | E委員 | 意見・質問 |
| | (4) 地域課題 | 15 | 地域課題の多様化に関して具体的に考えられるものは何かあるか。 | E委員 | 意見・質問 |
| (5) まちづくり | 16 | まちづくりに関して、外国を含む他の自治体との連携によってできた取組はあるか。 | D委員 | 意見・質問 | |
| | | A I等の技術はまちづくりにどのように活かされるか。 | D委員 | 意見・質問 | |